

I テーマを見つけよう

調べ学習でいちばん大切なのは、テーマ選びです。何かを調べようと図書館に来てみても、調べたいテーマが決まっていないと、結局何も見つけられずに終わってしまいます。それでは、テーマはどのように決めたらよいのでしょうか。

あらかじめ、課題が決まっている場合は、その課題にあった本など（たとえばボランティア活動ならば、ボランティア全般を対象にした本を見してみる）を見ながら、自分の興味や知りたいことを探していくことができます。

課題が決まっていなく、自由に課題を考える場合は、テーマ探しが必要になります。これは、なかなか難しいものですが、自分の一番興味のあることをテーマに選べるのが、自由課題の楽しいところです。

テーマはいろいろな角度から探すことができますが、それを見つげ出す鍵は自分自身の中にあります。日ごろから疑問に思っていることや、自分の趣味のこと、興味のあることなどから、徐々に絞り込んでいきましょう。

また、テーマがなかなか見つからない時、学校図書館や公共図書館に行き、たくさんの図書を見してみるのもいいでしょう。その中に、テーマを見つけだすヒントがあるかもしれません。

1 全体像をつかむ

課題があってもなくても、テーマを絞り込むには、まず、全体像をつかむことが重要です。

たとえば、環境問題について調べる場合、大きなテーマは「環境問題」ですが、それからさまざまな方向へテーマを見つけることができます。(図1)

百科事典やそれぞれのテーマごとの事典などで、簡単な解説を読んだり、本の目次を見たりなどして全体像をつかみましょう。



2 テーマを絞り込む

全体像をつかんだら、テーマを絞り込みましょう。全体像をつかむ上で、興味があったところをチェックし、いろいろ疑問に思ったところを書き出してみます。

「環境問題」を大きなテーマとして考えてみる場合、図1のように、「環境問題」にも「海洋汚染」「酸性雨」「地球温暖化」などいろいろあります。

たとえば、「地球温暖化」について考えてみます。

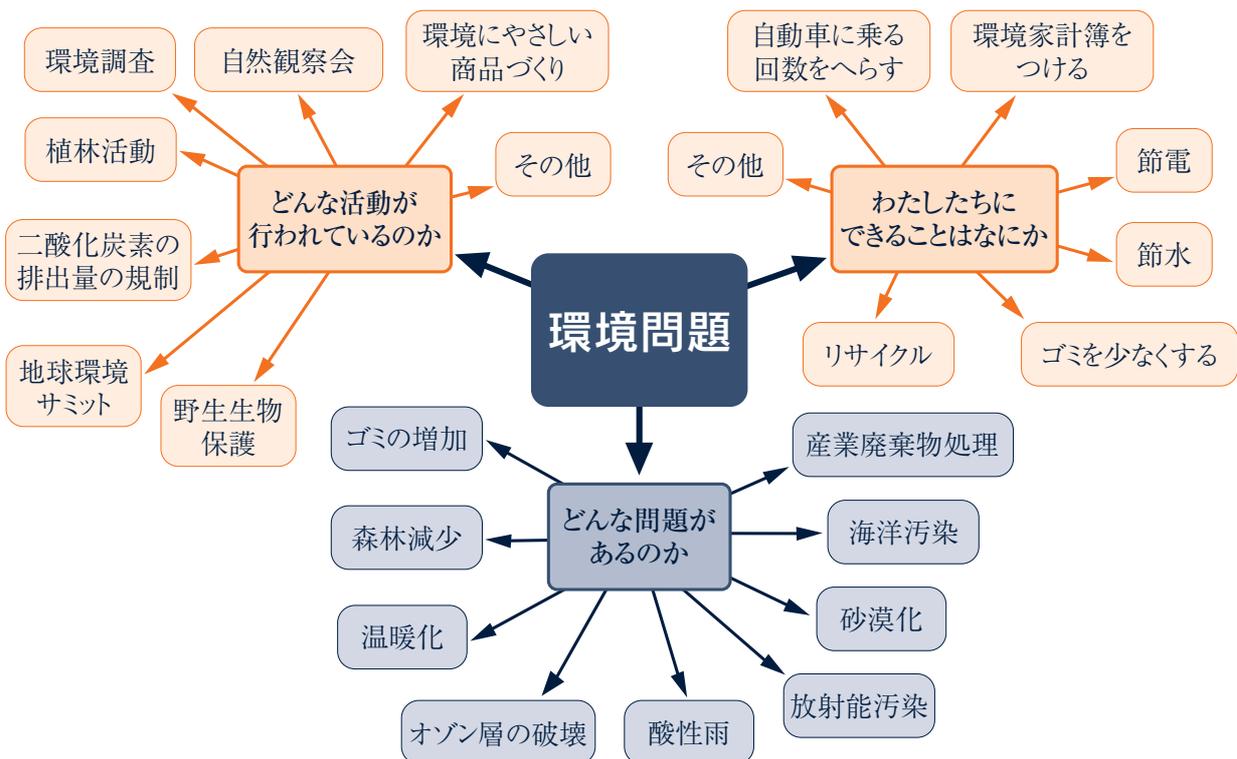
地球温暖化はどのように起こるのか？
いつごろから起こっているのか？
温暖化の結果として環境にどのような影響がでるのか？
現在どのような取り組みが行われているのか？



……など、いろいろな疑問がでてきます。

このほか、地球規模の問題から地域や国ごとの問題へと絞り込んだりもできます。

図1 「環境問題」を例に、テーマを絞り込む



II 調べ学習の方法

テーマが決まったら、いよいよ調べる作業の始まりです。そのための情報を集めること、これが調べ学習の第一歩です。では、情報はどのようにして集めることができるのでしょうか。

1 周りの人に聞いてみる

テーマに関する知識や情報を、家族の人や先生などに聞いてみるのも良い方法です。何かアドバイスをしてもらえるかもしれませんし、話すことによって、別のアイデアが浮かんでくるかもしれません。



2 学校図書館で調べる



学校の図書館を利用するのも、一つの方法です。テーマにそった資料があるかどうか、自分で探してみましょう。

3 市立図書館で調べる

学校図書館では見つかりそうになかったら、近くの図書館へ。図書館には小説などの読み物のほかに調べるための資料がたくさんあります。



4 資料館や美術館で調べる



図書館にはいろいろな資料がありますが、残念ながら資料が少ない分野もあります。そういうときは、直接その分野を専門に扱っている施設を利用してみましょう。

たとえば、自分の住んでいる町の歴史や風俗などを調べる場合は、地元の郷土資料館などが役に立つでしょう。また、美術に関することについては美術館を利用したり、宇宙に関することについては科学館を利用したりして、調べる対象の幅を広げていきましょう。

5 市(区)役所やさまざまな機関で調べる

福祉や道路、ごみ処理、水道、交通など公共的な仕事に関わりのあることは、市役所や清掃工場、水道局、交通局など市の施設に直接問い合わせることもできるでしょう。

たとえば、盲導犬や聴導犬、介助犬について調べる場合には、盲導犬協会に電話で聞いてみたり、資料をもらったりするなど、それぞれ専門の機関も利用してみてください。



6 インターネットで調べる



最近では、インターネットで調べることもできるようになりました。

世界中の資料館や博物館、美術館、政府機関などがホームページを開設していますので、いろいろな情報を入手できます。ただし、不正確な情報もあるので、見極める目が必要です。インターネットで調べる内容について、図書館などで直接資料にあたることをお勧めします。